

気まぐれ

作詞 J'Soul (浅羽一)

中途半端の恋が良いって 君はいつでも呟いていて
それでも僕は真剣に 二人で愛し合いたいと願った
どっちつかずが一番染って 君はいつでも軽く笑って
そんな時僕真剣に 君を振り向かせたいと思った
恋愛なんて男と女の駆け引き
先に熱くなった方が負けだって 昔誰かが言っていた
君が好きって抱きしめようと 胸を広げて両手をあげた
君は笑って駆け寄ってきて 不意に舌を出し何処かへ消えていく } ■

面倒なことは大嫌いって 愛を語ることもなんか無くって
一人で僕はがむしゃらに 二人の絆強めたく走った
もしかしたら僕のことなんて 何とも思っていないんじゃないかって
不安になっていると君は 『好きだよ』と笑って僕抱きしめる
恋愛なんて男と女の追っかけっこ
先に惚れた方が負けだって 分かってるけど止められない
■繰り返し

恋愛なんて終わることのない戦い^{レース}
もし諦めて足を止めたら 恋はその場で終わっちゃう
■繰り返し

愛してるって僕は叫んで 君の肩抱く腕に力込めた
君は笑って軽く口付けて 白い羽になり腕抜けて自由^{そら}に舞う
甘い風に 誘われて
止まらない^{ストーリー} 物語